



IX Knowledge Inc.

2007年3月期  
中間決算の概要

## 2006年

- 4月 システムセンター(地方開発拠点)を事業部として独立
- 5月 「IT内部統制コンサルティングサービス」開始
- 7月 セキュリティ訓練サービス「メル訓」開始
- 8月 セキュリティeラーニング  
「百合子先生のeラーニング」をASP化
- 8月 子会社ITジャパン(株)がときわ情報(株)と  
合併に向け合意



「百合子先生のeラーニング」  
製品キャラクター  
セキュリティ子先生

## 市場動向

景気拡大受けIT投資姿勢は積極化  
発注姿勢はなお慎重(費用対効果、一段と)  
価格底打ち、一部で改善も

## 当社の対応

引合増え、受注体制を強化  
利益重視の慎重な戦略受注を継続  
要員確保に注力(協力企業・社内調整)

## 収益面で大幅に改善

受注管理を強化し、赤字案件が極小化

「製販一体」の営業体制で顧客対応迅速に

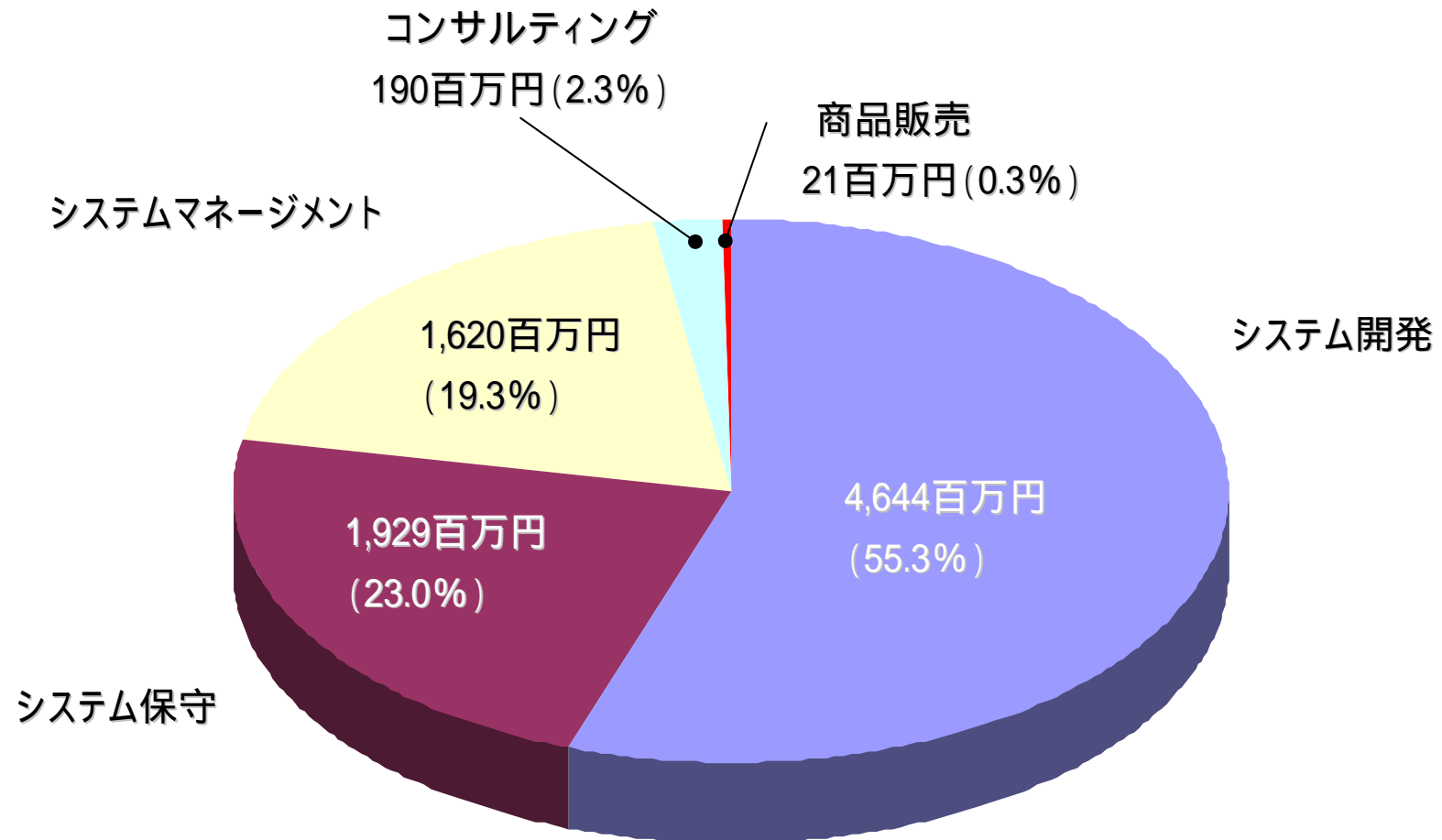
要員稼働率の向上

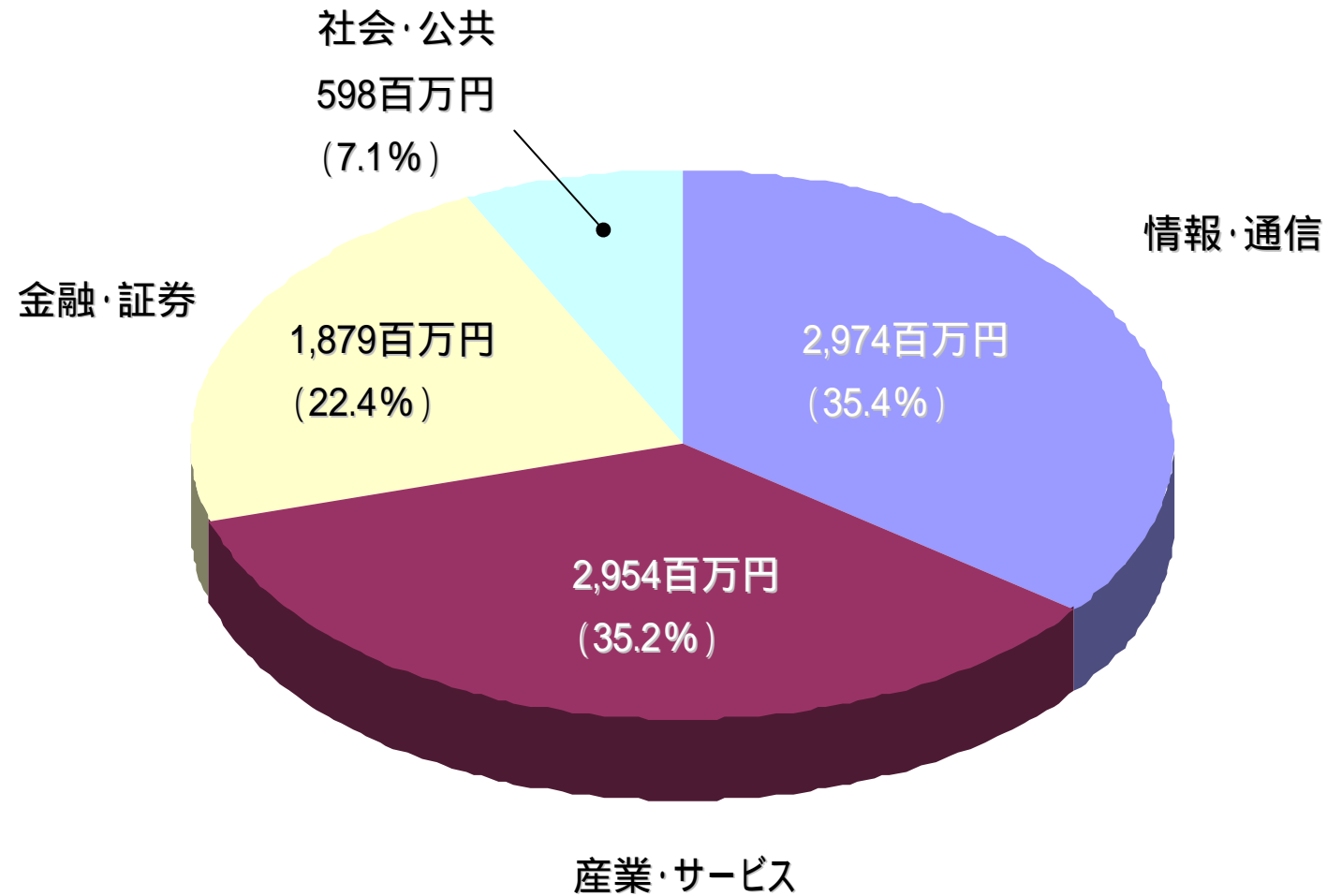
収益の加速つき「上方修正」に

# 2007年3月期 中間期 経営成績(連結)

(単位:百万円)

	06年3月 中間期	07年3月 中間期	増減率
売上高	7,874	8,406	6.8%
売上総利益	874	1,337	53.0%
(総利益率)	11.1%	15.9%	4.8P
販管費	1,040	1,008	-3.1%
営業利益	-165	328	-
経常利益	-242	339	-
特別利益	28	1	-96.4%
特別損失	261	14	-94.6%
当期純利益	-382	182	-





カッコ内売上比率(%)

- 11~20位 (14.1)
- ・日本電子計算
- ・アイ・ティ・フロンティア
- ・ISIDグループ
- ・第二東京弁護士会
- ・IBMグループ
- ・富士通グループ
- ・さくら情報システム
- ・科学技術振興機構
- ・三菱UFJ  
  フィナンシャルグループ
- ・菱化システム

CSKシステムズ  
(1.8)

富国生命グループ  
(1.9)

ユニシスグループ  
(2.2)

NTTグループ(2.3)

JFEグループ(2.8)

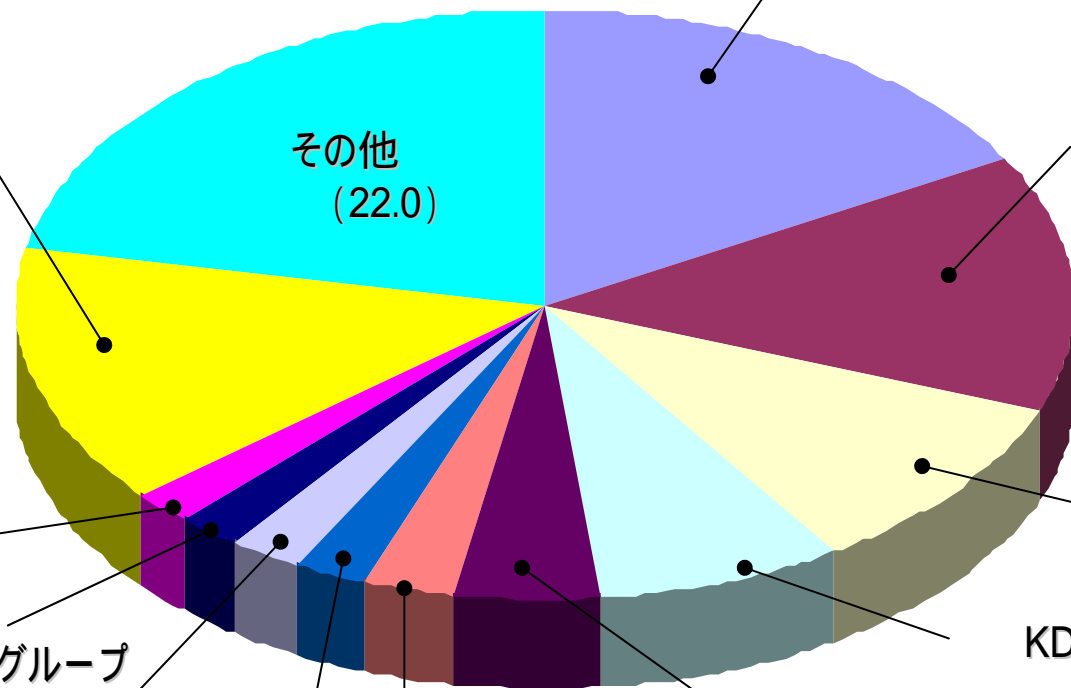
みずほフィナンシャルグループ(4.4)

KDDIグループ(7.6)

NECグループ  
(9.9)

NTTデータグループ  
(14.1)

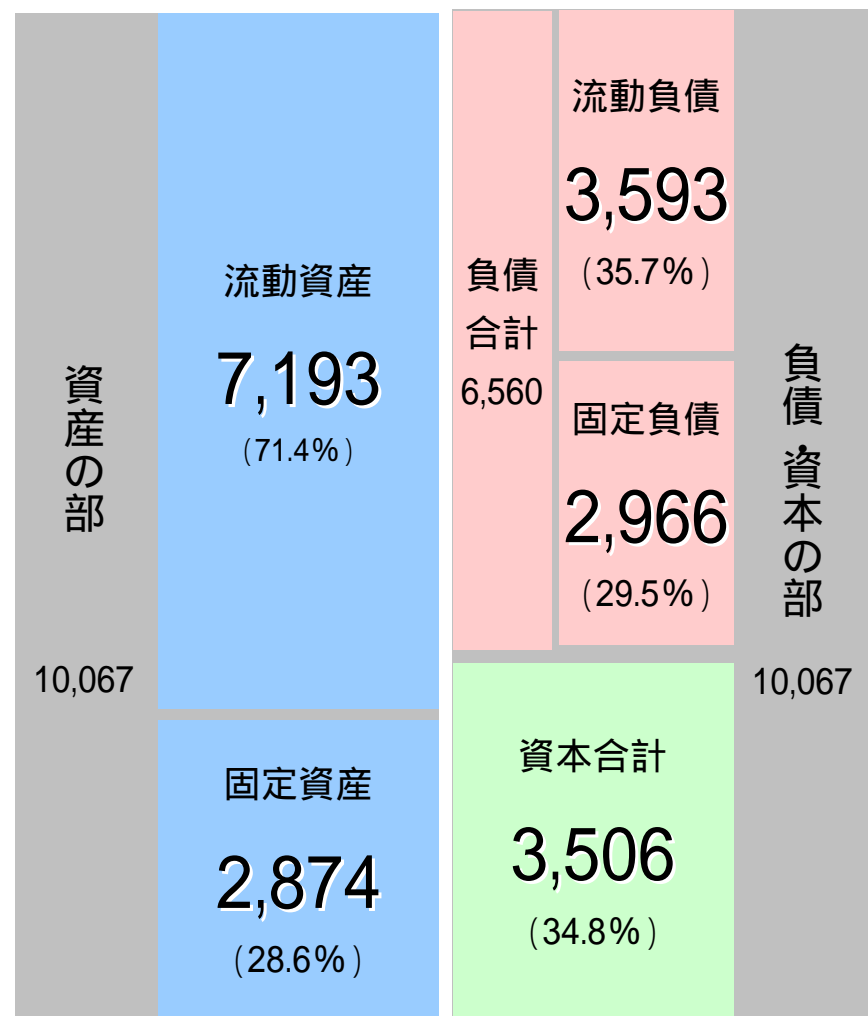
日立グループ(16.7)



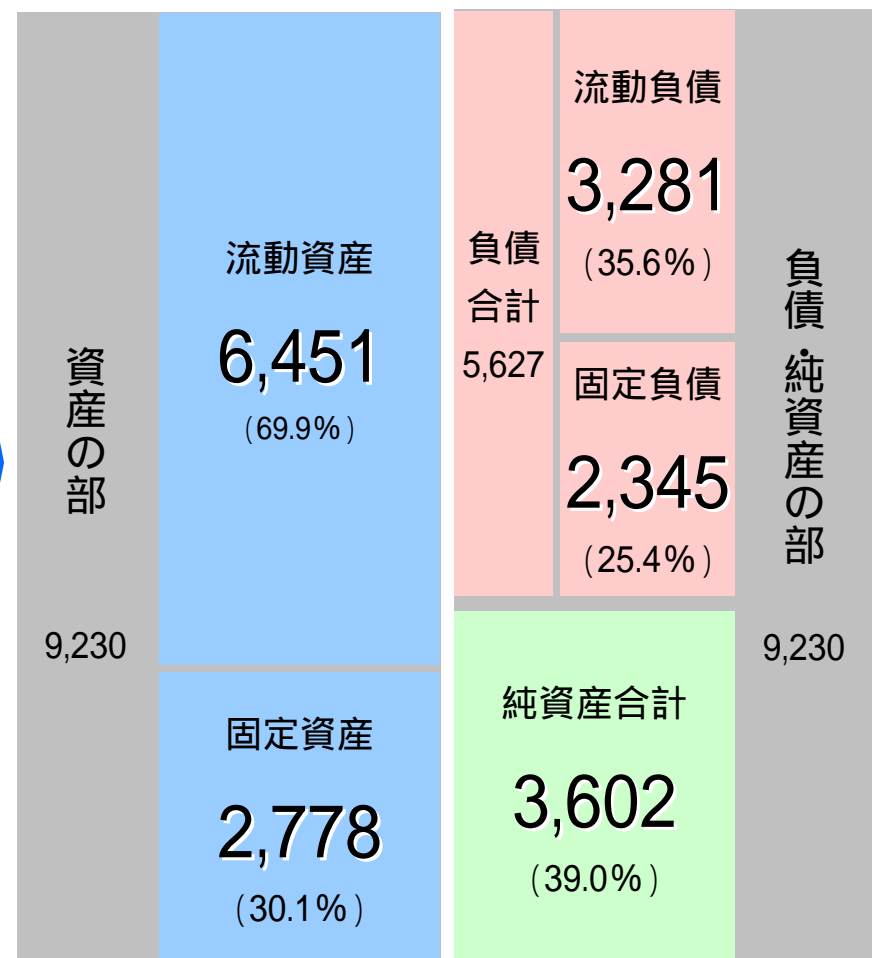
# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

2006年3月31日



2006年9月30日



# キャッシュフロー(連結)

	05.4.1 ~ 05.9.30	06.4.1 ~ 06.9.30
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-56</b>	<b>368</b>
税金等調整前当期純利益	-475	326
売上債権の減少額	69	103
たな卸資産の増減額	115	-181
仕入債務の減少額	-117	-82
その他の営業活動	352	202
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>62</b>	<b>-139</b>
関係会社株式の取得による支出	-	-66
有価証券の売却による収入	22	-
短期貸付金の貸付による支出	-	-70
その他の投資活動	40	-3
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-130</b>	<b>-1,018</b>
借入金の純増減額	81	-808
社債の償還による支出	-208	-208
その他の財務活動	-3	-2
<b>現金(同等物)の増減</b>	<b>-124</b>	<b>-790</b>
<b>現金(同等物)の期首残高</b>	<b>2,243</b>	<b>3,284</b>
<b>現金(同等物)の期末残高</b>	<b>2,118</b>	<b>2,494</b>

(単位:百万円)



IX Knowledge Inc.

2007年3月期  
通期業績見通し

主力市場は堅調な伸び  
慎重な発注姿勢を継続

収益管理の強化  
「利益重視」の慎重な受注姿勢を持続

株主還元を確実に実行

## 金融・証券

取引所/証券取引システム  
信託銀行/有価証券管理・資産管理等  
銀行/ノ - ツ WEB化システム対応  
銀行/共同センタ - 化対応  
銀行/インフラ構築

## 情報・通信

情報/データセンター運用  
通信/構造改革  
通信/データセンター保守  
通信/システム検証サ - ビス  
通信/携帯クレジットシステム

## 産業・サービス

製造/組込ソフト  
出版/情報サイトシステム  
商業/基幹システム・新物流システム  
鉄鋼/生産管理システム

## 社会・公共

鉄道/鉄道運行管理システム  
官公庁/県警人事システム

(単位:百万円)

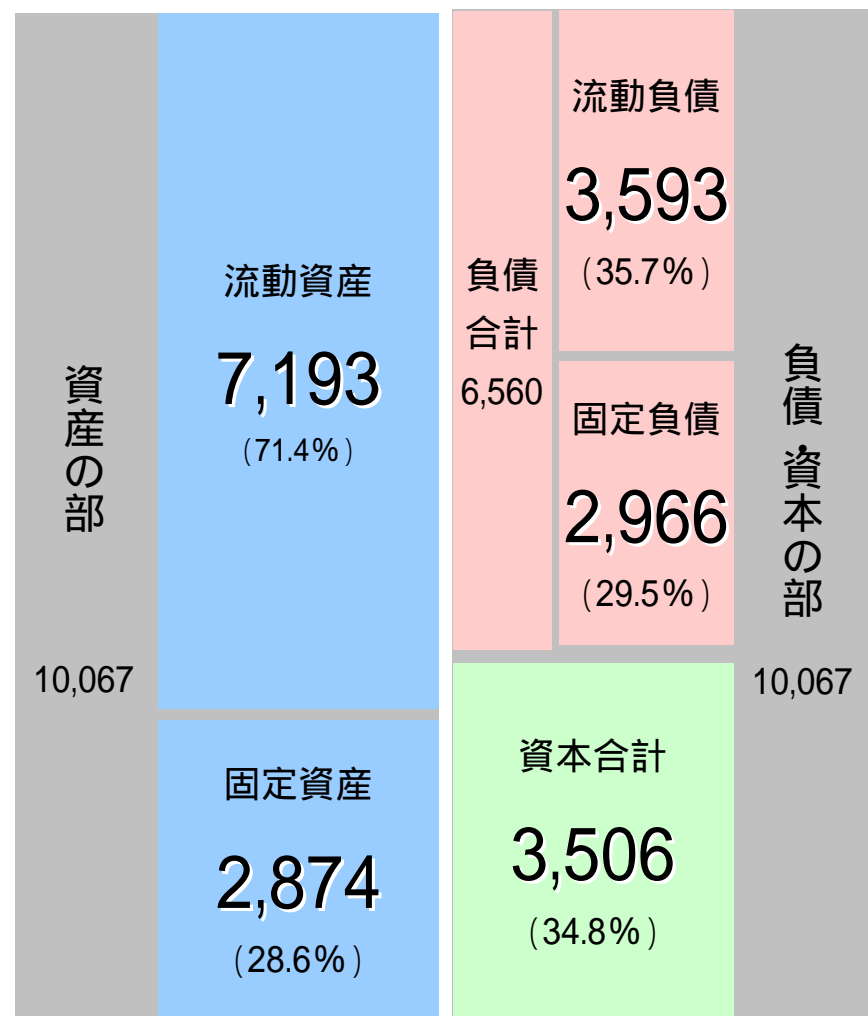
	06年3月期	07年3月期	増減率
売上高	16,377	<b>17,292</b>	5.6%
営業利益	207	<b>818</b>	295.2%
経常利益	129	<b>837</b>	548.8%
当期純利益	353	<b>474</b>	34.3%

連結対象子会社:1社(アイ・ティ・ジャパン株式会社)

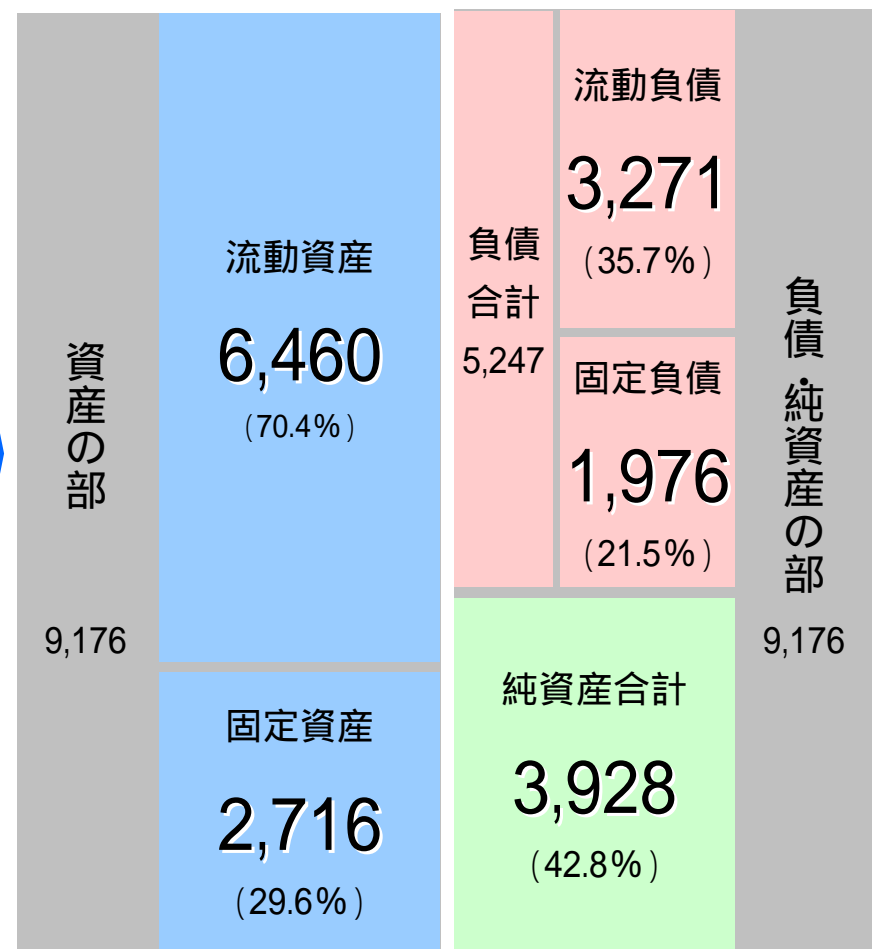
# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

2006年3月31日



2007年3月31日





IX Knowledge Inc.

# 中期展望



## 市場

市場は中長期的に緩やかに成長  
…待機案件の顕在化  
慎重な顧客姿勢(費用対効果)  
…投資判断が情報システム部門から経営者・現場へも

## 案件

日本版SOX法など内部統制強化へのシステム対応  
自動車・携帯電話など組込系ソフト需要の拡大  
金融・証券(システム統合から個別テーマ)/通信(構造改革)  
を中心に市場拡大

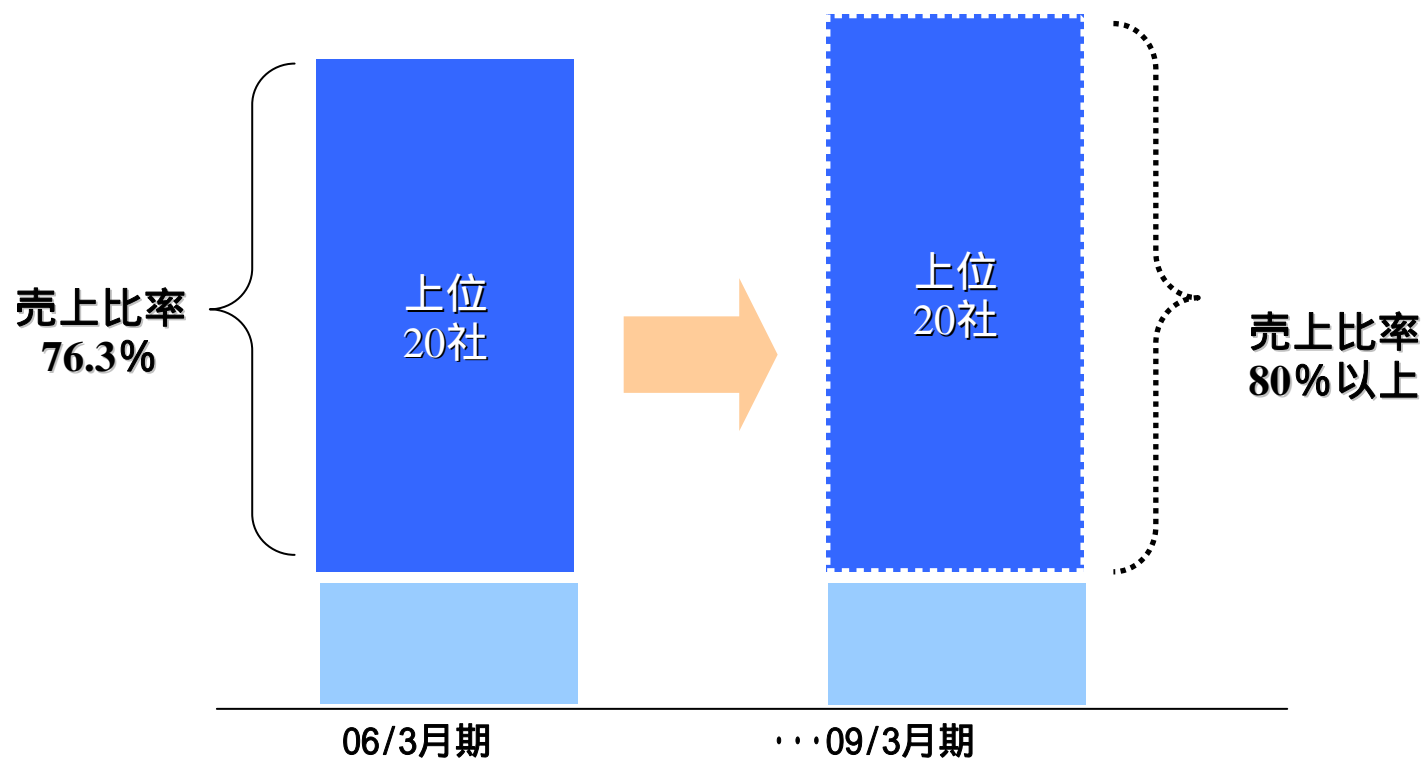
## 要素技術

ITサービスの回復、アウトソーシングの高度化  
オブジェクト指向/オープンソースを基幹系システムに採用  
WEB2.0への対応

## 増加する大型案件を確保

(大手メーカー・ベンダーとの協業拡大)

## 収益の安定化



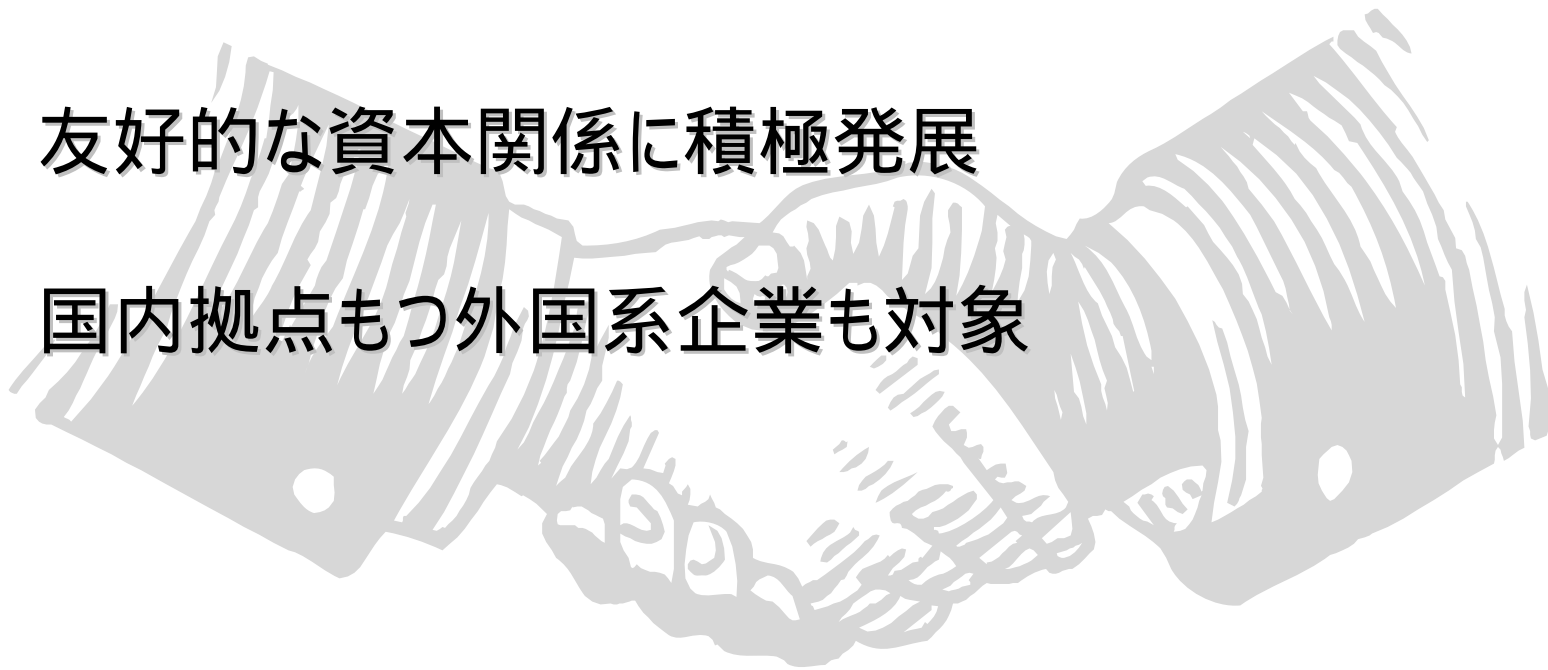
## 受注体制強化

有力パートナー企業を「コア」に

業務プロセスの共有化を進める

友好的な資本関係に積極発展

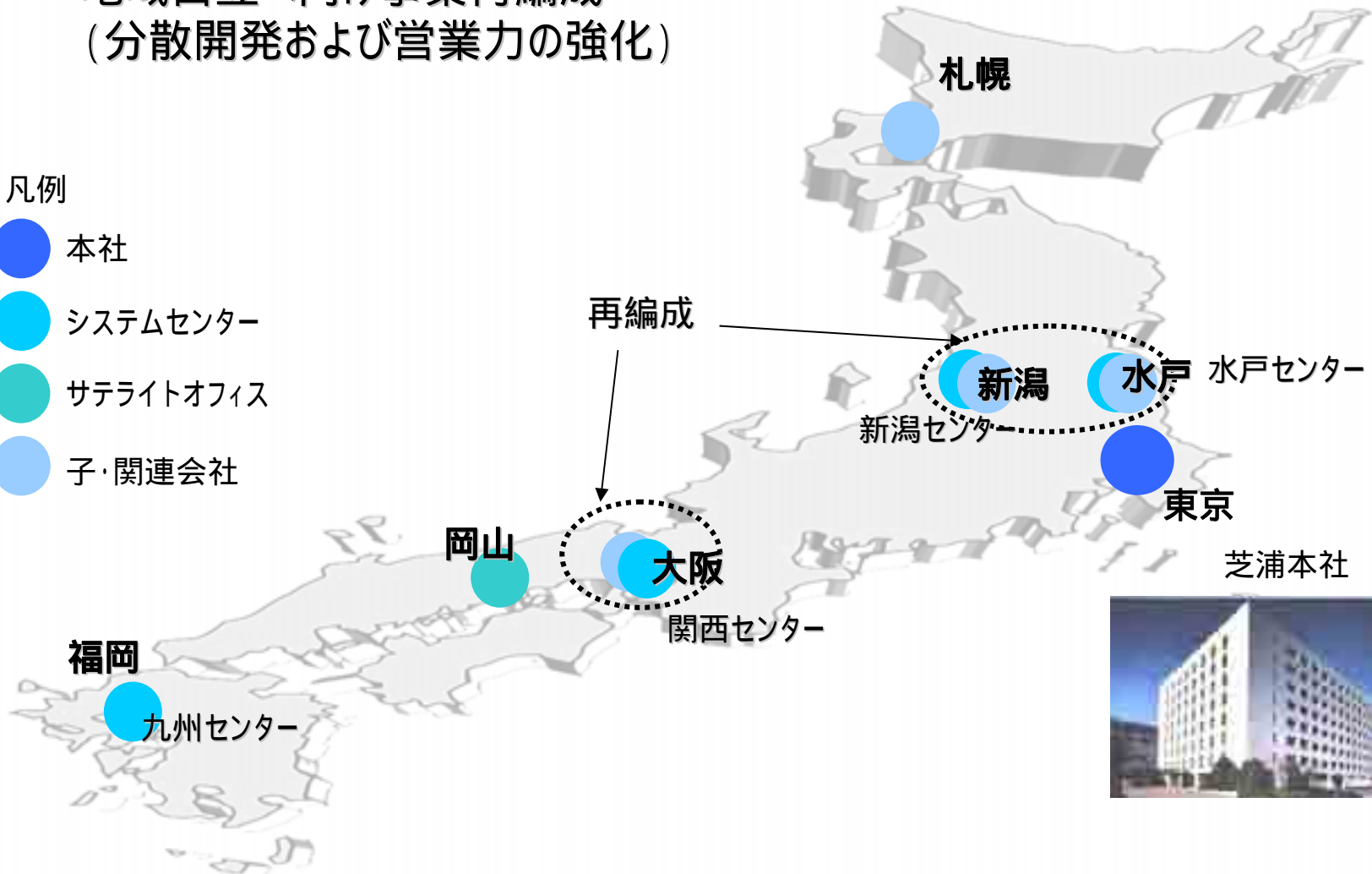
国内拠点もつ外国系企業も対象

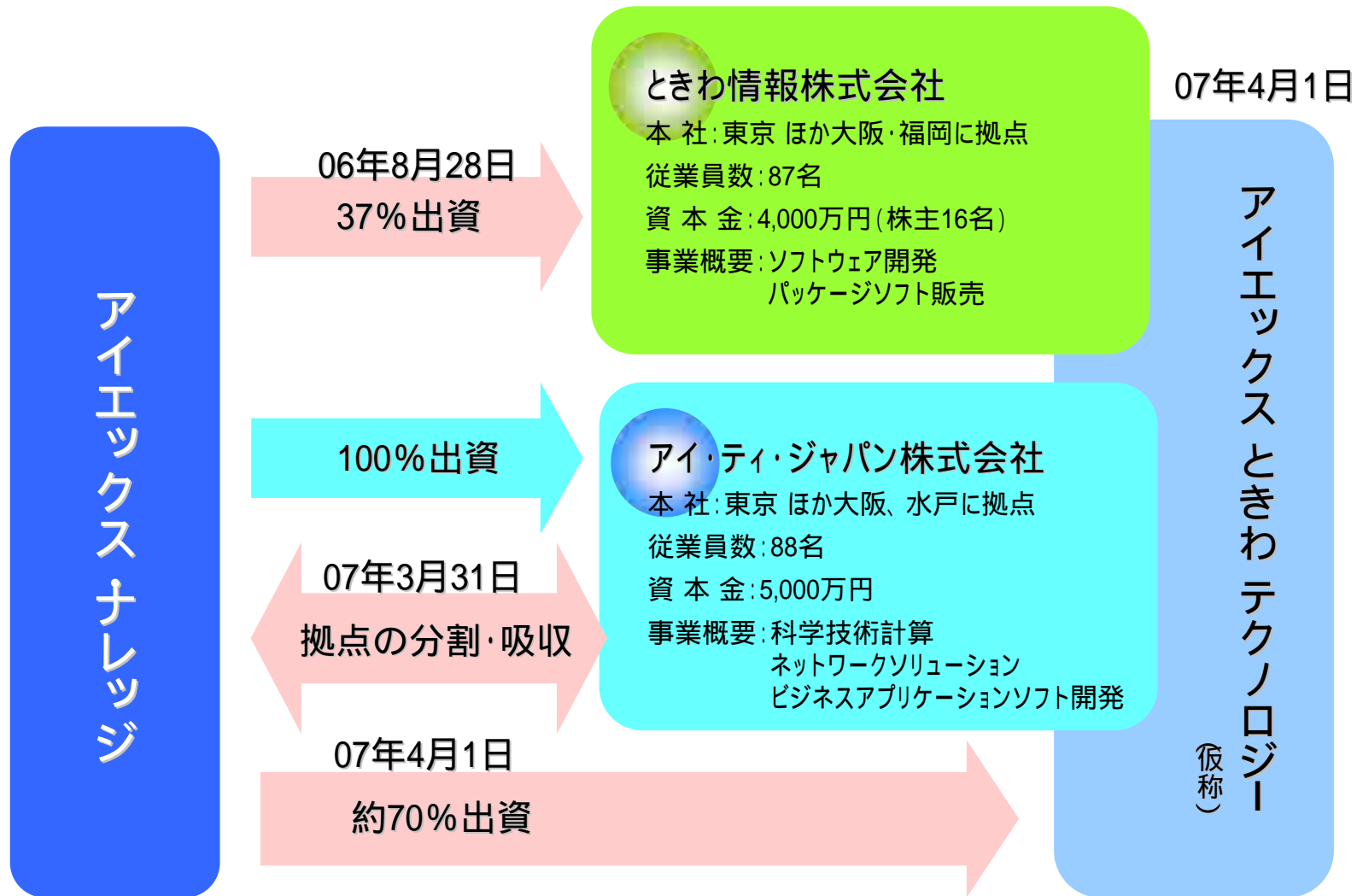


地場有力パートナーとの連携  
地域自立へ向け事業再編成  
(分散開発および営業力の強化)

凡例

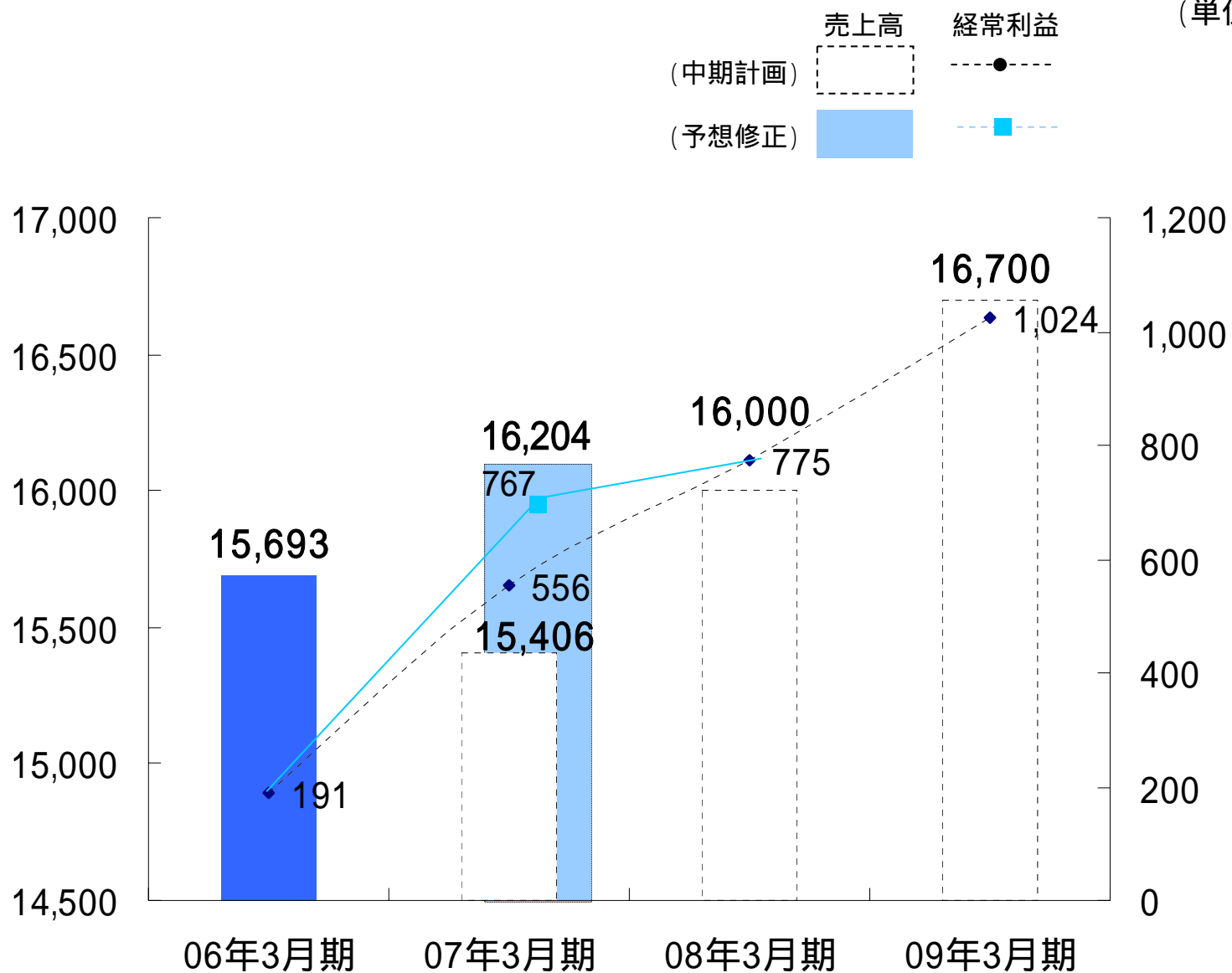
- 本社
- システムセンター
- サテライトオフィス
- 子・関連会社





# 財務目標 (单独)

(単位:百万円)



全てのステークホルダーから  
**選ばれる会社**

